

令和6年度
バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰
受賞事例集

令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 受賞者事例集の刊行にあたって

内閣府では、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的として、バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を実施しています。

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含む全ての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を表彰するものです。平成14年度から毎年度実施しており、今回で23回目の表彰となります。

関係省庁、都道府県、政令指定都市を通じて推薦のあった候補者の中から、今年度は、内閣総理大臣表彰1件、内閣府特命担当大臣表彰優良賞2件、同奨励賞2件が選考され、表彰式において、石破内閣総理大臣及び三原内閣府特命担当大臣から受賞団体の代表者に対して、表彰状が授与されました。

今後、一人でも多くの方が本事例集を開き、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を持っていただくことで、国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会、「共生社会」を目指した活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。

令和7年3月
内閣府



令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰式
開催日：令和6年(2024年)12月27日(金)
開催場所：内閣総理大臣官邸大ホール

講

評



令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

今年度の表彰に先立ち、例年どおり、関係省庁や全国の地方公共団体から20件の優れた候補者を推薦いただきました。受賞者の選考に当たり、まずは選考委員による書面審査を行いました。その結果に基づき、第1回選考委員会において、現地調査を実施する候補者を選考しました。現地調査では、候補者の団体や事業所等において、その活動内容の確認、現場の方々からのヒアリング等を実施し、これを通じて功績として評価できる事実を調査しました。最後に、第2回選考委員会において、現地調査報告を踏まえ、厳正な審議を経て、次の5件を今年度の受賞者として選出しました。

内閣総理大臣表彰を受賞された「社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会」は、昭和61年に開設されたろう重複障害者の共同作業所「どんぐりの家」を契機に平成6年に結成され、平成8年には全国初のろう重複障害者の生活施設「ふれあいの里・どんぐり」（重度身体障害者授産施設）を開設し、今日まで全国のろう重複障害者の生活支援や地域づくりに対してさまざまな先駆的活動を展開してきた。平成18年にはろう者の高齢化にともなう特別養護老人ホーム「ななふく苑」を開設するなど、こうした長年にわたるろう者、ろう重複者の当事者活動が極めて高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰優良賞を受賞された「只石幸夫」さんは、平成23年に障害や年齢、性別等の違いに関わらず誰もが暮らしやすい地域づくりを目指したカムイ大雪バリアフリー研究所を設立し、その後も就労支援事業所やユニバーサルツーリズム事業所を開設し、道内をはじめ全国各地で誰もが安心して生活できるユニバーサルな地域づくりの普及・啓発活動に尽力されており、これらの功績が高く評価されました。

同じく優良賞を受賞された「公益財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立尼崎青少年創造劇場及び兵庫県立ピッコロ劇団」は、昭和58年に設立された全国でもユニークな劇団として多面的な活動を展開しています。特に阪神・

淡路大震災の被災者支援活動の経験からその後の大規模災害時の被災者支援活動に発展させ、さらには障害の社会モデルや人権モデルをベースに多様な市民や参加者と協働する様々な劇団活動が高く評価されました。

内閣府特命担当大臣表彰奨励賞を受賞された「株式会社Halu」は、代表者である松本氏の障害のある子育て体験から、他の子育て中の保護者や開発業者とネットワークを組み、障害がある幼児や児童がどこでも利用できるポータブルチェアを製品化しました。現在は他の衣料品や独自の商品開発も進めており、こうした当事者家族が中心となったビジネスモデルが高く評価されました。

同じく奨励賞を受賞された「みんなでつくる音楽祭in小平実行委員会」は、仙台市の「とっておきの音楽祭」をモデルに、障害の有無や年齢、性別に関わらず誰もが参加できる市民みんなの音楽祭として平成26年12月に第1回を開催しました。その後音楽祭は毎年12月に開催され、準備段階の出会いや交流、情報保障等の取組が心のバリアを取り除く地域密着型の地道な活動として高く評価されました。

昨年、障害者が日常生活・社会生活を送る上での社会的障壁がある場合に、必要かつ合理的な配慮の提供を事業者に対して義務付ける、改正障害者差別解消法が施行されました。また憲法違反とされた旧優生保護法を長年にわたり執行してきたことへの真摯な反省が政府から行われ、「障害者に対する偏見や差別のない共生社会の実現に向けた行動計画」を新たにとりまとめる中で、日常生活・社会生活の様々な場面に存在するバリアを取り除くための取組が進められてきました。今後も、障害の有無等にかかわらず、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる「共生社会」の実現を目指したバリアフリー・ユニバーサルデザインの取組が重要です。この度、受賞された優れた取組が今後全国各地に波及し、さらなる多様なバリアフリー・ユニバーサルデザイン活動が活発に展開されていくことを期待しています。

最後になりましたが、本表彰に関し、候補者の推薦などご協力をいただきました関係省庁・都道府県・政令指定都市を始めとした全国各地の関係機関に、改めて深く感謝申し上げます。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰選考委員会

委員長 高橋 儀平

目 次

● 令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰受賞者

内閣総理大臣表彰（1件）

社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会	1
------------------	---

内閣府特命担当大臣優良賞（2件）

只石幸夫	3
------	---

公益財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立尼崎青少年創造劇場及び兵庫県立ピッコロ劇団	5
--	---

内閣府特命担当大臣奨励賞（2件）

株式会社Halu	7
----------	---

みんなでつくる音楽祭in小平実行委員会	9
---------------------	---

- これまでの受賞者一覧 11
- バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領 20
- 選考委員会委員名簿 21

令和6年度

内閣総理大臣
表彰

厚生労働省推薦

社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会

(埼玉県入間郡毛呂山町)

【団体概要】

- 昭和61年、ろう重複障害者の共同作業所である「どんぐりの家」を結成後、平成6年「社会福祉法人埼玉聴覚障害者福祉会」を設立。主に埼玉県内の聴覚障害児・者の自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的に活動。同福祉会は、障害者支援施設、特別養護老人ホーム、聴覚障害者情報提供施設、共同生活援助、放課後等デイサービスの経営等を行っている。



(特別養護老人ホームななふく苑)

【功績・功労】

- ろう重複障害者の共同作業所「どんぐりの家」開所。これをきっかけに県内では在宅ろう重複障害者を掘り起こし、「なかま」が増えていくと同時に、当事者団体を中心とした運動は県外にも大きく影響を与え、各地でのろう重複障害者施設建設運動の活性化に寄与した。



(どんぐりの家)

- 重度身体障害者授産施設「ふれあいの里・どんぐり」を開所。ろう重複障害者の生活・就労の場の建設運動は漫画「どんぐりの家」としてコミック誌に掲載され、社会的に大きな注目を浴び、きこえない・きこえにくい人たちの生きづらさが社会に啓発され、全国的なろう重複施設等の設立に大きく寄与。



(ふれあいの里・どんぐり)



(漫画「どんぐりの家」(小学館HPより))

- 本福祉会の全ての施設・事業所では、なかま(=利用者)が自分の言葉＝手話言語で作業や生活ができる環境が整えられており、このようなろう者を主体としながらも手話のできるきこえる人たちとの協働活動は、手話言語を軸とした情報バリアフリー社会の構築に大きく貢献。



(パン作りの様子)



(なかま集会)

令和6年度
内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞
北海道推薦

只石幸夫

(北海道旭川市)

【概要】

➤ 特定非営利活動法人カムイ大雪バリアフリー研究所代表理事(平成23年8月～令和5年9月)及び一般社団法人旭川コンベンション協会常任理事(平成27年～現在)を歴任。旭川地域を中心に、障害当事者や行政、観光業界、大学、病院等、幅広い関係機関とともに、バリアフリー観光やパラスポーツの振興等をテーマに、地域の異業種の企業と連携しながら街や施設のバリアフリー化・ユニバーサルなイベントの開催などのバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進活動を行い、その広がり注力してきた。



【功績・功労】

➤ 平成23年、共生社会の実現に向け、障害の有無、年齢や性別等に関わらず、誰もが暮らしやすい地域づくりに取り組む「カムイ大雪バリアフリー研究所」を設立。また、障害者とともに働きやすい環境作りの一環として、障害者自立支援サービスを提供する就労継続支援事業所「チーム紅蓮」の設立にも携わる。



(就労継続支援事業所「チーム紅蓮」)

➤ 大雪さんろくまつりにおいて、車いす利用者や「誰でも一緒に担げるUDみこし」を発案するなど、ユニバーサル化に貢献。

平成27年のIPCクロスカントリースキーワールドカップ旭川大会では、選手やコーチ、チーム応援団など国内外来訪者を対象とした市内観光プランを発案し、パラスポーツと観光を組み合わせる取組を試行。



誰でも一緒に担げるUDみこし(旭川夏まつり)



パラスポーツ体験観光(旭川冬まつり)

➤ 自らの経験や体験を踏まえ旭川・北海道のみならず広く沖縄まで全国各地で講演・セミナーを実施し、「旅りハねっと・坂道勾配WebMap研修」など幅広くバリアフリー観光・パラスポーツ活動の推進に貢献している。



(旅りハねっと・坂道勾配WebMap制作研修)

沖縄県沖縄市

石川県小松市

令和6年度
内閣府
特命担当大臣表彰
優良賞
兵庫県推薦

公益財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立尼崎青少年創造劇場及び 兵庫県立ピッコロ劇団 (兵庫県尼崎市)

【団体概要】

➤ 昭和53年に劇場開館。「地域が芸術文化でつながり誰もが生きやすい社会をつくる」をミッションに掲げ、障害者が演劇公演を楽しめるような鑑賞サポートに力を入れている。

また、阪神・淡路大震災での演劇による被災地支援活動の経験を活かして、東日本大震災において被災地に寄り添った、息の長い活動を展開。令和7年1月5日には「災害と演劇を考える」シンポジウムも開催予定。

さらに、増え続ける在留外国人の地域コミュニティ参加支援のため、演劇手法を用いたワークショップを地域の国際交流団体等と連携して行っている。



中学生演劇鑑賞体験事業 わくわくステージ
「森のなかの海賊船～こそあどの森の物語」
鑑賞サポート(字幕付き公演)(2023年5月)



阪神・淡路大震災
被災地激励支援活動
(1995年2月)

【 功績・功労 】

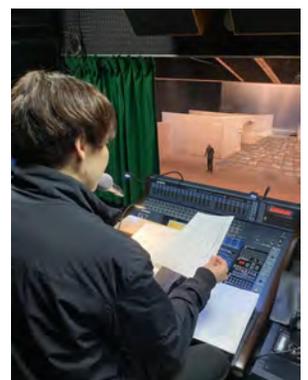
- 障害のある人たちが、障害のない人たちと同じように舞台を楽しめるための様々な工夫を当事者や専門家の意見に基づいて行っている。視覚に障害のある方へ舞台の状況や出演者の動きなどをピッコロ劇団員が音声で解説する音声ガイド、聴覚に障害のある方が目で音を感じ取ることができるような舞台字幕やポータブル字幕の作成、字幕のない公演では、台本を隣でめくるという合理的配慮の実施、バックステージ解説における手話通訳等、単なる情報保障のみならず、「想像保障」を目指して実施している。



(舞台手話通訳)



(ポータブル字幕)



(ピッコロ劇団員による音声ガイド)

- 在留外国人を対象としたワークショップ「にほんごであそぼう！」は、日本語を使ったゲームや表現活動を通して日本人と外国人がお互いに理解し合える機会となっている。また、助ける・助けられるという上下関係ではなく、お互いの人格や文化をリスペクトする工夫が随所にあり、増え続ける在留外国人の地域コミュニティ参加の手助けとなっている。さらに、近年ではワークショップを通じて、防災やゴミ出しルールなどについて学ぶ取組みも行っている。



身体で表現！
～みんな俳優になる～



やさしい日本語で
コミュニケーション



参加者同士で相談しながら
ゴミ箱に正しいゴミを入れて分別

(ワークショップ「にほんごであそぼう！」)

令和6年度
内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
京都府推薦

株式会社Halu

(京都府京都市)

【 団体概要 】

➤ 令和2年4月創業。障害のある子もない
子ども対象とするインクルーシブ・ブランド
「IKOU(イコウ)」を運営し、障害を持つ
子どもやその家族の課題を起点に、
子どもをもつすべての家族の多彩な
外出機会を創出するためのプロダクトを
開発・販売。

IKOU

(インクルーシブ・ブランド『IKOU』)

障害の有無に関わらず子どもたちやその家族が体験を共有できる空間や機会を増やすことで、多様性を体感しお互いを認め合う経験を育み、それを社会全体に広げることを目指している。

【 功績・功労 】

➤ 代表をはじめ、メンバーの多くが障害のある子どもを持ち、当事者家族の立場からの企画製品化を通じて、障害児とその家族が、外出しづらい状況の解消に取り組んでいる。



- 障害の有無によらずすべての子どもと親が「ともにつかえるプロダクト」を世の中に増やすことを目指し、IKOUポータブルチェアやIKOU Bib(スタイ)等を開発。特に、IKOUポータブルチェアは、①姿勢保持機能に優れ、体の状態や利用シーンに応じてリクライニングも可能、②大人用椅子への設置や床置きでの使用が可能、③軽量・コンパクトで持ち運びが容易、④福祉機器と比較して入手・購入しやすい、といった特徴を備えており、ユーザーからも「子どもとの外出先や一緒にできることが増えて嬉しい」等の感謝の声が多く寄せられている。



(IKOUポータブルチェア)



(IKOU Bib(スタイ))

- 個人での所有に加え、公共交通機関や子ども向け施設、スポーツアリーナ等、企業・団体の主導による設置も広がっており、障害児を含む小さな子連れ家族の行動範囲の拡大や、新しい経験を積むことに寄与。



(阪急電鉄)



(サンフレッチェ広島)

令和6年度
内閣府
特命担当大臣表彰
奨励賞
東京都推薦

みんなで作る音楽祭 in小平実行委員会

(東京都小平市)

【団体概要】

- 平成26年9月に実行委員会を立ち上げ、小平市中央公民館を拠点に活動を開始。同年12月6日に第1回「みんなで作る音楽祭in小平」を開催。障害の有無・年齢・性別などのボーダーを越えて、準備期間から当日まで多様な市民が協働することでお互いを理解し合い、「心のバリアフリー」を目指すイベントで、実行委員会は、様々な障害当事者、ボランティア等で活動し、イベントには朝鮮大学の学生や海外からの参加申込みなど、幅広い参加となっている。今年で11回目の開催となるが、コロナ禍ではオンラインによる配信、昨年には対面開催が再開され、今年も1000人以上の参加があるなど地道な活動を行っている。



(音楽祭の様子)

【 功績・功労 】

- 実行委員会や出演団体の中には障害の当事者が一定数参加しており、音楽祭の準備から当日までの一連の活動の中で、「音楽を楽しむ」という考えを通じて、障害のある人とない人が自然に触れ合い、互いを理解し認め合いながら信頼を深めている。



(音楽祭準備の様子)

- ステージでは手話通訳者や文字情報ボランティア、会場では点字プログラムの配布による情報保障を実施しており、障害者と健常者が共に楽しめる環境整備を行うことで、独特の温かい雰囲気の中で運営側、出演者、来場者が一体となって、自然体で音楽を楽しむ中で障害のことや情報保障の意義などを理解できるイベントとなっている。



(ステージ上の手話通訳)



(文字情報ボランティア)

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

～これまでの受賞者一覧～

	第1回受賞 平成14年度 (2002年度)	第2回受賞 平成15年度 (2003年度)	第3回受賞 平成16年度 (2004年度)
内閣総理大臣表彰	新井リゾート開発株式会社	京成ホテル株式会社	湖南省
	下田タウン株式会社		南砺市
内閣官房 長官表彰 (第3回 まで)	Accessible盛岡	伊勢佐木町1・2丁目 地区商店街振興組合	荒 由利子
	伊丹市	岐阜経済大学まちな か共同研究室マイス ター倶楽部	伊予鉄道株式会社
	財団法人共用品推進 機構	訓子府町	株式会社 イトーヨーカ堂
	株式会社京急 ファインテック	医療法人主佑会 澤歯科医院	株式会社 オリエンタルランド
	財団法人 すこやか食生活協会	伊勢原・誰もが住み よい街づくり懇話会	高齢者住宅環境整備 ボランティア会
	特定非営利活動法人 デイヘルプ	特定非営利活動法人 日本サスティナブル ・コミュニィ・セン ター	仙台シニアネットクラ ブ
	特定非営利活動法人 福祉のまちづくり 市民ネットワーク	肥後タクシー有限会社	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整 備支援機構、 九州旅客鉄道株式会社
	バリアフリーデザイ ン研究所	広島電鉄株式会社	
	むくどりホーム・ ふれあいの会	福岡県田川郡 大任町立大任小学校	トヨタ自動車株式会社
		村山 輝子	
	有限会社料亭こもだ		

	第4回受賞 平成17年度 (2005年度)	第5回受賞 平成18年度 (2006年度)
内閣総理 大臣表彰	東陶機器株式会社	コクヨ株式会社
	特定非営利活動法人 大阪障害者雇用支援ネットワーク	
内閣府 特命担当 大臣表彰	大牟田住まい・まちづくり ネットワーク	ケア付き青森ねぶた 「じょっぱり隊」
	奥野 花代子	京王電鉄株式会社
	東京急行電鉄株式会社	公立豊岡病院組合
	福岡市交通局	特定非営利活動法人 シーエス障害者放送統一機構
	有限会社雅樹雅	とっておきの音楽祭 実行委員会SENDAI
	有限会社ハートフル・ウィング	富山ライトレール株式会社
		平田観光株式会社
	THE MAGICAL TOY BOX	

	第6回受賞 平成19年度 (2007年度)	第7回受賞 平成20年度 (2008年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社 エヌ・ティ・ティ・ドコモ	品川区立戸越台中学校
	中部国際空港株式会社	富士ゼロックス株式会社
内閣府 特命担当大臣表彰 (優良賞)	岡山県立興陽高等学校	イオン九州株式会社 イオン鹿児島ショッピングセンター
	花王株式会社	泉北若松台A B住宅 団地管理組合
	京都リップル	全国障害学生支援センター
	特定非営利活動法人 全国視覚障害者情報提供施設協会	豊中市
	凸版印刷株式会社	横浜市交通局
	はあとねっと輪っふる	
	兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所	
	ユニバーサルデザインリフォーム プラザ静岡	
内閣府 特命担当大臣表彰 (奨励賞)	大洗サーフ・ライフセービングクラブ	池野通建株式会社
	大阪市交通局	五木村立五木中学校・ 熊本県立人吉高等学校五木分校
	大日本印刷株式会社	株式会社袖ヶ浦自動車教習所
	トーワ株式会社	特定非営利活動法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター
	特定非営利活動法人 子育て支援のNPOまめっこ	特定非営利活動法人 市民生活支援センターふくしの家
		特定非営利活動法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ
		特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい
		ピュア・フィールド風曜日
		北極しろくま堂有限会社

	第8回受賞 平成21年度 (2009年度)	第9回受賞 平成22年度 (2010年度)
内閣総理 大臣表彰	株式会社東京信友	特定非営利活動法人 Color Universal Design Organization
		日本理化学工業株式会社
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	株式会社サンエ芸
	カシオペア連邦はーとふる発見隊	株式会社特殊衣料
	株式会社タカラトミー	株式会社日立製作所 ユニバーサルデザイン 出前授業プロジェクトチーム
	財団法人 安全交通試験研究センター	東京電力株式会社
	財団法人 明治安田こころの健康財団	特定非営利活動法人 ウィズアス
		有限会社アイ・シー・アイ デザイン研究所
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	尼崎交通局	あい・あーる・けあ株式会社
	特定非営利活動法人 子育てネットすくすく	刈谷市総合文化センター アイリス
	特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと	
	特定非営利活動法人 ユニバーサルデザイン・結	

	第10回受賞 平成23年度 (2011年度)	第11回受賞 平成24年度 (2012年度)
内閣総理大臣表彰	ケージーエス株式会社	シナノケンシ株式会社
		社会福祉法人 全国手話研修センター
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	オムロン ソーシャル ソリューションズ株式会社	特定非営利活動法人 UDくまもと
	株式会社富士レークホテル	埼玉県警察本部交通部交通規制課
	株式会社 湯郷プラザホテル 季譜の里	社会福祉法人 太陽の家 サンストア
	株式会社らむれす・三角山放送局	日進市立図書館
	特定非営利活動法人 まちづくり推進機構岡山	南医療生活協同組合
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	国際ユニバーサルデザイン協議会	早稲田大学ボランティアサークル 積み木の会

	第12回受賞 平成25年度 (2013年度)	第13回受賞 平成26年度 (2014年度)
内閣総理大臣表彰	日本聴覚障害学生高等教育支援 ネットワーク (PEPNet-Japan)	和歌山県立博物館施設活性化事業 実行委員会・和歌山県立博物館
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	株式会社アメディア	藤野 稔寛
	特定非営利活動法人 ケーネット知楽市	株式会社電制
		日本ブラインドサッカー協会
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	いしかわ総合スポーツセンター	大口町立大口南小学校
	有限責任事業組合ASI栃木	てまるプロジェクト
	有限会社川藤	
	京都府立京都八幡高等学校・ 京都府立八幡支援学校	
	シティホールプラザ アオーレ長岡	

	第14回受賞 平成27年度 (2015年度)	第15回受賞 平成28年度 (2016年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社オーエックス エンジニアリング	株式会社ジェイ・ティ・アール
		株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社 メディア・ユニバーサルデザイン プロジェクトチーム
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 横浜能楽堂	有限会社さいとう工房
	川端鉄工所株式会社	なにわー水
	株式会社主人公	
	地域共生型 福祉施設整備協議会	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)		ヤマハ株式会社新規事業開発部 SoundUDグループ
		座間キャラバン隊
	第16回受賞 平成29年度 (2017年度)	第17回受賞 平成30年度 (2018年度)
内閣総理大臣表彰	仙台市交通局	有限会社 エクストラ
	全日本空輸株式会社・ ANAウイングス株式会社	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	石狩市	社会福祉法人 愛知たいようの杜
	株式会社エスコアール	明石市
	道の駅 常陸大宮	合同会社 Chupki
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	オプトニカ工房有限会社	藤巻 進
	篠原電機株式会社	富士見高原リゾート 株式会社
	戸田市立笹目小学校	
	株式会社スワン	

	第18回受賞 令和元年度 (2019年度)	第19回受賞 令和2年度 (2020年度)
内閣総理大臣表彰	一般社団法人日本玩具協会	株式会社 アステム
		東急電鉄株式会社
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	WHILL株式会社	岡山放送株式会社 「手話が語る福祉」制作チーム
	中橋真紀人	セイコーウオッチ株式会社
	特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議	Palabra株式会社
	富士市	
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	株式会社システムギアビジョン	奥山梨衣
	特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク	神奈川トヨタ自動車株式会社
	株式会社ファンケル	大日本印刷株式会社
	特定非営利活動法人 横濱ジェントルタウン倶楽部	特定非営利活動法人 福祉住環境ネットワークこうち

	第20回受賞 令和3年度 (2021年度)	第21回受賞 令和4年度 (2022年度)
内閣総理大臣表彰	株式会社高知システム開発	毎日新聞社点字毎日
	社会福祉法人佛子園 輪島KABULET®拠点施設	
内閣府特命担当大臣表彰 (優良賞)	オムロンヘルスケア株式会社	株式会社アイエスゲート
	特定非営利活動法人Creer	NPO法人わくわーく
内閣府特命担当大臣表彰 (奨励賞)	東京大学バリアフリー支援室	全国脊髄損傷者連合会 山形県支部
	認定特定非営利活動法人 トラッソス	社会福祉法人悠林舎 障害者支援施設シーズ
	特定非営利活動法人 日本バリアフリー協会	

	第22回受賞 令和5年度 (2023年度)	第23回受賞 令和6年度 (2024年度)
内閣総理 大臣表彰	社会福祉法人あさがお福祉会 Tsuda-Machi-Kitchen	社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉会
	特定非営利活動法人メディア・ アクセス・サポートセンター	
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	株式会社Lean on Me	只石幸夫
	公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会	公益財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立尼崎青少年創造劇場及び 兵庫県立ピッコロ劇団
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	千葉県立東金特別支援学校 パラスポ推進隊	株式会社Halu
	特定非営利活動法人 町田ハンディキャブ友の会	みんなでつくる音楽祭 in小平実行委員会

	第23回までの 受賞件数
内閣総理 大臣表彰	内閣総理大臣表彰 35件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (優良賞)	内閣官房長官表彰 (1回～3回) 28件 内閣府特命担当大臣表彰 (4回・5回) 14件 内閣府特命担当大臣表彰 優良賞 (6回～23回) 66件
内閣府 特命担当 大臣表彰 (奨励賞)	内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞 (6回～23回) 54件
	総計 197件

注1) 本表彰は、第6回までの間、「バリアフリー化推進功労者表彰」として実施。

注2) 「受賞者」の名称は、受賞当時の名称で記載。

バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰要領

平成13年11月6日
バリアフリーに関する関係閣僚会議決定
平成29年4月3日
最終改正

1 目的

この表彰は、高齢者、障害者、妊婦や子ども連れの人を含むすべての人が安全で快適な社会生活を送ることができるよう、ハード、ソフト両面のバリアフリー・ユニバーサルデザインを効果的かつ総合的に推進する観点から、その推進について顕著な功績又は功労のあった個人又は団体を顕彰し、もって、バリアフリー・ユニバーサルデザインに関する優れた取組を広く普及させることを目的とする。

2 表彰の対象

バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関して、施設の整備、製品の開発、推進・普及のための活動等において、極めて顕著な、又は特に顕著な功績又は功労のあった個人又は団体

3 表彰者

極めて顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣総理大臣、特に顕著な功績又は功労があったと認められる者については内閣官房長官（ただし、高齢社会対策又は障害者施策を担当する内閣府特命担当大臣が置かれている場合には当該大臣。以下「担当大臣」という。）

4 表彰の方法

表彰状及び記念品

5 表彰の時期

表彰は、年一回行う。

6 表彰の手続

都道府県等から推薦された者のうちから、別に定める選考委員会の意見を聴いて、内閣総理大臣又は担当大臣が被表彰者を決定する。

7 表彰の事務

表彰に関する事務は、関係各省庁の協力を得て、内閣府において行う。

8 その他

この要領に定めるもののほか、表彰の実施に関し必要な事項は、内閣府政策統括官（共生社会政策担当）が定める。

令和6年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰
選考委員会 委員名簿

委員長

高橋 儀平 東洋大学名誉教授

委員

飯野奈津子 ジャーナリスト、山梨大学客員教授

池田千登勢 東洋大学教授

宇野 和博 筑波大学附属視覚特別支援学校教諭

小澤 温 筑波大学教授

大日方邦子 一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事

中野 泰志 慶應義塾大学教授

久松 三二 一般財団法人全日本ろうあ連盟事務局長

藤本 浩志 早稲田大学教授

(敬称略、50音順)

内閣府政策統括官（共生・共助担当）付
参事官（総合調整担当）

〒100-8914

東京都千代田区永田町 1 - 6 - 1
中央合同庁舎第 8 号館

H P : [https://www8.cao.go.jp/souki/
barrier-free/bf-index.html](https://www8.cao.go.jp/souki/barrier-free/bf-index.html)